



# 広報 おおの



寒さなんか、へっちゃらだい (阪谷幼稚園の乾布摩擦)

## 主な内容

	ページ
今年の主な出来事……………	2～3
市長へのメッセージ結果…4	
年末年始の市の業務……………	6
市民のページ……………	10～11
お知らせ……………	14～15

平成7年(1995年)

**12月号**  
No.603

さよなら'95



# 大野市のこの一年を振り返って

①兵庫県南部地震被災地へ当市からも救援



②武家屋敷風の法務総合庁舎がお目見え



③少数激戦となった市議会議員選挙



④公募により、市のシンボルマークを制定



⑤市民提案箱・市政ホットラインで広聴事業充実



⑥市内初の交通公園が完成



⑦六呂師の円山公園で県緑化大会開催



⑧世界ベンチプレス大会で武井さんが3位入賞



**1月** 10日教育長に藤井氏就任  
15日成人式 17日兵庫県南部地震(当市からも救援活動)

30日大野法務総合庁舎落成式

**2月** 4・5日かまくら朝市  
11・12日スノーフェスタ

19日市議会議員選挙

**3月** 11日生涯学習推進大会  
19日大野たこあげ大会

27日市のシンボルマーク発表

**4月** 1日人事異動で初の女性課長 3日一乗ハイツに

デイサービスセンター開設 8日

春季消防総合訓練 8〜16日大野

さくらまつり 9日知事・県議選

挙 10日市民提案箱・市政ホット

ライン開設 24日新規学卒者就職

歓迎会・28日麻那姫湖青少年旅行

村(中島)開園

**5月** 20・21日七間朝市山菜フ

ードピア 23日交通公園

完成 25日県緑化大会 28日名水

マラソン

10日越前大野鉄道部5周

年式典 18日真名川若鮎

フェスティバル 25日水防訓練

25日世界ベンチプレス大会で武井

康弘さん3位に

**7月** 9日やまびこコンサート、

みんなと歌う童謡祭 12

日大雨で国道158号土砂崩れ

15日越前大野平成塾開講 23日参

議院議員選挙 25〜29日独スポ

ーツ少年団交流 29・30日おの

アウトドアアグラウンズ

# 投票してください

## あなたが選ぶ 95 大野市十大ニュース

平成七年（一九九五年）も残りわずかとなりました。全国的には兵庫県南部地震や地下鉄サリン事件など、不穏な出来事が多かった年といえましょう。あなたにとつて、今年はどうな一年間だったでしょうか。大野市の主な出来事を、市政を中心に振り返ってみましょう。

の皆さんからの投票で決めています。写真の十六項目から十項目を選んでください。順位は関係ありませんので、番号順に書いてください。多数の応募をお待ちしています。

**投票方法** はがきに住所・氏名・年齢・項目番号を明記のうえ、市役所秘書広報課広報広聴係（〒912天神町1-1）まで。各公民館や市

民課の窓口にも投票用紙が備えてあります。

**締切** 12月20日水（当日の消印有効）

**発表** 十大ニュースの発表は十二月下旬に新聞などで

**賞品** 十項目の中者には、記念品を進呈します。ただし中者が多数の場合は、抽選で十人の方とさせていただきます。



⑬市長・議長らが中国 寧波市など訪問



⑨人づくりの目玉「越前大野平成塾」スタート



⑭世界体操でスウェーデン 選手団と交流



⑩みんなで楽しんだアウ トドアグラウンズ



⑮新田と花房を結ぶ阪谷 新橋が開通



⑪施設充実して、奥越青少年自然の家が開所



⑯市民サービスの向上に 市民課窓口を大改修



⑫中野の工業団地に木工 団地完成

<b>8月</b>	1日奥越青少年自然の家開所 12〜27日「戦時中のくらし」展 13〜16日おおの城まつり（13日花火大会） 25〜27日市美術展 27日越美北線と乗合バスに乘るイベント 30日知事と7市長のサマーサミット
<b>9月</b>	市長へのメッセージ募集 2日ヤングフェスティバル 4日中野に木工団地完成 8日越美北線の愛称「九頭竜線」に決定 22日公認マラソンコース誕生、献穀粟拔穂式 30・1日テキスタイルフェア
<b>10月</b>	1日和光園に訪問看護ステーション開設、国勢調査 2日西勝原に多目的グラウンド完成 9・14日市長ら訪中 7・8日世界体操選手権でスウェーデン選手団と交流 9日公共下水道地元説明会始まる 14日健康づくりインおおの 16日阪谷新橋開通式 21・22日三大朝市物産まつり 25日そば祭り 26日尚徳中の冬季寄宿舎廃止
<b>11月</b>	1・3日市総合文化祭 3日市政功労者市長表彰行 10日お座敷列車大野市民号運行 11・12日産業フェア 16日まちづくりとせいのフォーラム 18・19日小京都物産まつり 19日奥越マラソン大野大会 26日都市対抗駅伝 27日市民課事務室新装オープン
<b>12月</b>	行政改革大綱策定（予定） 大野公民館移転改修完了（予定）

## 「市長へのメッセージ」審査結果まとまる

# 多かったのは 自然や歴史などの活用提言

市民提案箱・市政ホットラインに続く新しい  
広聴事業として九月に募集した「市長へのメッ  
セージ」には九十二通が寄せられました。テー  
マは「大野市のイメージアップを図るために」。  
大野の自然や歴史、町並みなどを生かした提言  
が多くありました。あらましを紹介します。

「市長へのメッセージ」は  
二十歳代から八十歳代までの  
各層からいただきました。

寄せられた提言は、淡水魚  
水族館の建設、織物組合など  
の古い建物の保存と活用、大  
野藩を題材にした大河ドラマ  
の制作、自動車を入れないま  
ちづくりなど、いろいろな分  
野に及んでいます。総じて、  
大野の素晴らしい自然や水、  
歴史と町並みなどの活用を提  
案するものが目立ちました。  
これらの手紙は、天谷市長  
がすべて目を通しました。市  
として対応できるものは極力  
取り入れていく方針です。  
なお、応募くださった皆さん  
には全員に記念品をお送り  
しました。市長へのメッセー  
ジは、来年も引き続き実施す  
る予定です。

### 審査会では

### ユニークな五点を選出

届いたメッセージは十月十  
六日、学識経験者などを交え



10月16日に行われた審査会

た審査会に諮り、ユニークで  
独創的なものという観点から  
五つが選ばれました。

審査は「一筆啓上賞」の仕  
掛け人である、丸岡町の大廻  
政成さんをはじめ、鳥山泰弘  
さん（明倫町）藤田孝子さん  
（中津川）の三人と、市側か  
ら財政課長ら三人の計六人が  
あたりました。

どのアイデアも甲乙つけが  
たいものばかりで、審査員の  
皆さんを悩ませましたが、最  
終的には発想がユニークで独  
創的なものにポイントをおい  
て、次の五つを選びました。  
概要は次のとおりです。

### 昆虫王国の創設

上松 博道さん

（56歳・中野町一）

子供たちが大好きなトンボ  
やカブトムシなどの昆虫と自  
然をテーマにして、夢あふれ  
る昆虫博物館や昆虫ランドの  
建設を提案します。

### 安価な結婚式場の建設

菅岡まさ子さん

（57歳・糸魚町）

大野の自然を生かして、神  
秘的な結婚式場を造り、お金  
の掛からない結婚式を挙げら  
れるようにしてください。

### まちなみ景観の新設

朝日 俊雄さん

（36歳・西大月）

魅力あるまちづくりの主役  
は市民。市民の景観への意識  
高揚を図るために、優れた建  
造物や美化活動などに表彰制  
度を設けてはどうでしょう。

### 荒島岳を整備し活用を

田中 真次さん

（45歳・中荒井町二）

日本百名山の荒島岳を整備  
し、宮内庁を通して、皇太子  
殿下に登頂を依頼してはどう  
でしょう。

### 全国の「大野」氏活用

右に同じ

「大野」の姓は全国にある  
と思われずし、著名人もい  
ます。そこで、大野の姓の人  
を観光に優待したり、講師と  
して依頼したりすれば面白い  
企画になると思います。

市長へのメッセージに併せ  
て市民の皆さんにお願いした  
大野市にゆかりのある著名人  
の情報は、十八人の方からい  
ただきました。ご本人のブラ  
イバシーなどには十分配慮し  
て、活用させていただきます。  
ご協力ありがとうございます。

おめでとうございます

## 功績たたえ十五人を市長表彰

平成七年度の市長表彰式が十一月三日、市役所で行われました。

これは長年、市政や社会福祉などの各分野で活躍され、多大の功績のあつた方々を顕彰するものです。今年、次の十五人の皆さんが晴れの表彰を受けました。

### 自治振興

吉村 吾一さん

66歳・平沢領家

収入役として二期八年、市勢の進展に専念し、市民福祉の増進と市政の進展に寄与。

田中新一郎さん

71歳・美里町

行政連絡事務嘱託員・区長として十五年余、区長会および末端行政・地域活動に尽力し、地方自治の振興に寄与。

伊藤 稔さん

84歳・春日一（故人）

右に同じ。

石塚 重夫さん

61歳・中挟二

農業委員会委員として十六年余にわたり、委員会・地域農政の発展に寄与。

### 社会事業

安田 武雄さん

73歳・本町

開成保育園を開設以来、二十一年余にわたり園長として児童保育に努め、地域児童福祉活動に寄与。

### 産業振興

西川 文人さん

54歳・牛ヶ原

大野乾側土地改良区理事長として大区画整理事業を実施し、営農組織の充実と農業振興に寄与。

伊藤 武治さん

61歳・元町

商工会議所理事、商業協同組合理事長として商工業の振興と産業の育成に寄与。

野村重一郎さん

53歳・日吉町

商工会議所議員として、商工業の発展と日中友好技術交流協議会役員として外国人受け入れ事業に寄与。

中村 清志さん

69歳・日吉町

商工会議所理事として商工業の発展に努め、工業振興委員などに就任し、大野産業フェアの基礎づくりに寄与。

### 教育文化

佐々木定夫さん

56歳・上舌

小山地区体育協会理事長などを歴任し、二十五年余にわたり社会体育の振興に寄与。

小林 紀子さん

53歳・本町

市家庭婦人バレーボール連盟理事長や県連理事などを歴任し、二十二年余にわたり社会体育の振興に寄与。

高尾 利昭さん

68歳・大矢戸

下庄地区体育協会会長・市体育協会副会長として二十二年余にわたり社会体育の振興に寄与。

### 消防

田中 信夫さん

58歳・上荒井

中村 賢治さん

57歳・下据

筒井 俊男さん

56歳・東中

三人は消防団員として三十五年余にわたり、地域防災活動と消防使命の達成に寄与。

## 市民課をオープンカウンターに

### イトヨの展示水槽も設置



オープン間近の市民課（11月21日）

九月から進めてきた市庁舎一階の玄関ホールと市民課の改修工事が終わり、先月二十七日から利用できるようになりました。総工費は約七千万円。

これまでの市民課入り口ドアと廊下側の壁を取り去り、玄関ホールと一体化しオープンフロアとしたものです。

市民課の待合室はロビーとの境がなくなり、明るくゆつたりとした空間ができました。また、受付カウンターとは別に、廊下側も立ちカウンターとなっており、壁がないため応対も気軽にできます。来訪者に分

かりやすいよう、総合案内板や誘導サインも設置してあります。

玄関ホール正面には、イトヨを展示飼育する水槽が設置されています。約一・五立方メートルの大きさです。イトヨ約三十四匹が放されています。

淡水型イトヨは、全国各地の大野のほか会津などがよく知られています。本願清水は南限の生息地として国の天然記念物に指定されています。近年は、市民でも実際にイトヨを見ることは少ないので、市民の皆さんをはじめ観光客にも親しんで

もらえそうです。

## 年末年始の市の業務

### 市民課窓口は二十八日まで

### 新年は四日から平常どおり

#### ●市民課窓口業務

住民票や各種証明書の発行などの窓口業務は、二十八日まで行います。年末は特に混雑しますので、用件はお早めに済ませてください。

出生届や死亡届などは、休みの間でも市役所当直室（庁舎東側入り口横）で、受け付けています。

#### ●ごみの収集と空きびん回収

##### 「燃えるごみ」と「燃えないごみ」の収集は、二十九日の金曜収集地区まで行います。それぞれの地区の最終収集日がいっつになるか確認して出してください。

清掃センターへの「持ち込み」は、三十日午後四時三十分まで受け付けます。

4	3	2	1	31	30	29	28	27	日
木	水	火	月	日	土	金	木	水	曜
平常	← 休 →			平常	← 休 →		平常	平常	市民課 窓口
平常	← 休 →		平常	平常	午前8時30分 午後4時30分	平常	平常	平常	ごみの 持ち込み
平常	← 休 →			平常	← 休 →		平常	平常	くみ取り 尿
平常	〃	〃	〃	〃	〃	午前9時～ 午後5時	平常	平常	休日急患 診療所
← 休 →				平常	← 休 →		平常	平常	図書館

分まで受け付けます。

「空きびん回収」は、十二月まで平常どおり行います。一月、二月は積雪のため休業とします。三月まで各家庭で保管してください。

#### ●し尿のくみ取り

くみ取り業者は、二十九日から一月三日まで休業となり、衛生処理場も同期間、休みとなります。年末は、大変込み合いますので、業者への依頼は早めにしてください。

#### ●休日急患診療所

十二月三十日、三十一日と一月一、二、三日は、午前九時から午後五時まで急患の診療を行います。来所の際は、保険証を必ずご持参ください。十二月三十日は土曜日ですが、夜間診療は行いません。お間違いのないようお願いいたします。

#### ●図書の貸し出し

図書館は、二十八日から一月四日まで休館となります。なお、三月末日までの間、図書の特別貸し出しを行っています。この期間中（休館日は除く）は、一人何冊でも図書を借りることができ、貸し出し期間も三週間と長くなります。ぜひご利用ください。

## 節水にご協力を

春日公園基準観測井

11月21日 5.85m



- これから、本格的な降雪期を迎え、市街地の地下水位が相当低下すると予想されます。このため家庭用の浅井戸の水枯れが心配されます。市民の皆さん、生活用水を守るために
- ① 水の出しっぱなしは絶対しない
  - ② 道路、駐車場への散水はしない
  - ③ 洗車の回数を減らす
  - ④ 川水で用の足せるものは川水を利用する
- このように地下水の節水にご協力をお願いします。

エキサイティング

# スポーツ

## 情報

### 県小学生相撲大会

# 有終南Aチーム見事優勝

## 市内豆力士が大活躍



優勝した有終南A

第七回県小学生相撲選手権大会が十月二十九日、県立武道館で開かれました。当市から参加した小学生たちは、団体と各学年個人で優勝をしたのをはじめ上位を独占して、相撲どころ大野の実力を発揮しました。

主な入賞者は、次のとおりです。

【団体】①有終南A（池端、川端、千田）②上庄A③有終南A

【個人】▼4年①柳（有終東）②田原（阪谷）③山内（有終西）小倉（有終西）▼5年①東（上庄）②竹沢（有終西）③井尾（有終南）横田（阪谷）▼6年①千田（有終南）③川端（有終南）



### ●少年少女スキー教室

日時 1月13日①・14日②

両日とも午前9時～9時30分受付、終了午後3時30分

場所 森山スキー場

対象 小学3年生以上

内容 レベルに応じたクラス別指導、歩行からボーゲン、ポールスラロームまで

持ち物 スキー用具一式（貸しスキー有り）、帽子、手袋、ゴーグル、着替えなど

定員 60人

参加費 保険料400円

申込方法 12月18日①～1月9日②（12月28日～1月3日除く）の間に申込書に参加費を添えて

申込・問合せ先 市教育委員会体育課（☎66・1111 内線532）

### 雪から市民の生活を守る

大野市防雪基地管理棟は、昭和五十八年、篠原に設置されました。集落地域の交通確保、生活環境の向上などを目的として、防雪活動の拠点となっています。

除雪機械の整備・保管、通勤通学など生活に密着した道路の除雪や防雪活動が主な仕事です。

雪のない時期は、市道や流雪溝の補修や交通安全施設の維持管理なども行っています。職員は常駐が七人です。

現在、市保有の除雪機械は、ロータリー車や除雪ドーザーなど十台です。全市道九百一十路線のうち六百八十二路線が早朝除雪対象となっていて、総延長は三百九キにもなります。



### ③大野市防雪基地管理棟



除雪対策本部が設置される十一月十五日から翌年の三月三十一日まで、積雪が十センチに達すると、すぐに除雪作業を開始します。市保有除雪車と民間からの借上車約五十台も冬本番に向け準備完了です。

除雪作業を効率よくスムーズに行うためには、市民の皆さんの協力も必要です。

①路上駐車は絶対にしない

②除雪の滞んだ道路へ雪を出さない

③屋根の雪下ろしは町内ごと計画的に行う

このようなルールを守り、快適な冬を過ごしましょう。

場所 篠原68-1-1  
電話 ☎65・7376

## 健康づくり市民のつどい



表彰を受ける保健推進員



健康づくりの実践には、楽しみや苦しみを共に分かち合い、ふれあいを通して自分自身の生活調整をするための仲間が必要です。みんなと一緒に楽

身ぶり手ぶりを交えたユーモアあふれる話に会場は大爆笑でした。最後に、今年のがん検診を忘れずに受診して、元気な身体を保ちましょう。

「健康はまず病気がないこと、あつても治療もしくは生活を改善して日常生活を送れることが大前提です。加えて、生きがい、ゆとり、自己表現、人間関係、食事、運動、ストレス、バランス、感性などさまざまな健康を左右する因子があります。

これを機会に、それぞれの日常生活で、健康について振り返ってみてはいかがでしょうか」

### 保健推進員と

#### 優良家庭を表彰

最初に、日ごろから保健センターと市民の皆さんとの健康づくりパイプ役として活動している次の保健推進員の方に市長から感謝状が贈られました。高尾洋子さん（要町）

中森君江さん（日吉町） 宮山絹子さん（高砂町） 大沢幸代さん（高砂町） 北川敦子さん（菖蒲池） 前川房枝さん（中野） 安川三重子さん（中挟） 塚田美代子さん（下唯野） 堺井好

「聞いて元気コーナー」では、日本ヘルスサイエンスセンター医師、石川雄一氏の講演がありました。

### 健康を講演

#### おもしろ、おかしく

「健康はまず病気がないこと、あつても治療もしくは生活を改善して日常生活を送れることが大前提です。加えて、生きがい、ゆとり、自己表現、人間関係、食事、運動、ストレス、バランス、感性などさまざまな健康を左右する因子があります。」



## 楽しく元気な生活を送るために 気持ちよく話し合える仲間をつくろう

第十五回健康づくり市民のつどいが、「元気いっばい、笑顔がいっばい」をテーマに十月十四日、有終会館で開催されました。この中で、保健推進に功績のあった人が表彰され、健康についての講演がありました。今月は、当日の様様を紹介します。

皆さんの健康づくりを後押しします・保健センター（☎65-7333）



# アドバイス

## 暮らしの



### 飲み過ぎたと後悔しても遅すぎます 年末年始、 アルコールと上手に 付き合おう

何かとお酒を口にする機会の多い時期になりました。でも、つつい飲み過ぎてしまい、悪酔いや二日酔いになっては、せっかくの気分も台無しです。アルコールの作用をよく理解して、肝臓や胃腸に優しい、おいしいお酒を飲みましょう。

#### アセトアルデヒドが 二日酔いの原因

アルコールには、中枢神経をまひさせる麻酔と同様の作用があり、血液に混じって脳の機能をまひさせます。これが「酔う」ということです。アルコールの血中濃度が高くなるのに比例して脳のまひも進行します。

この体内に入ったアルコールを分解して血中濃度を下げるのが肝臓の役割です。まず、お酒を飲むとアルコールは胃腸で吸収され、血液に溶け込み、肝臓へ送り込まれます。その大部分は肝臓でアルコール脱水素酵素によって有害物質のアセトアルデヒドに分解されます。次に、アセトアルデヒドは、アセトアルデヒド脱水素酵素によ

#### 〈二日酔いを防ぐ食物〉

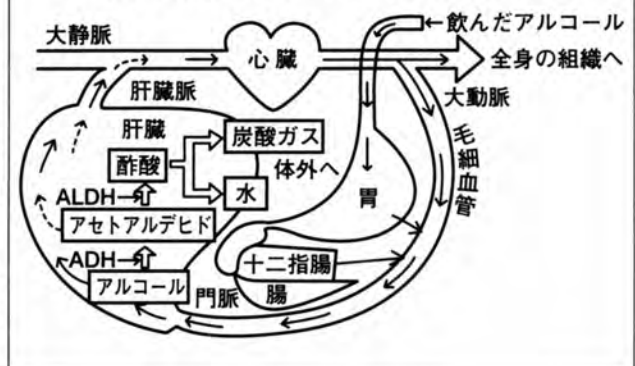
緑茶	茶	ビタミンC、タンニン
枝豆	豆	ビタミンE、鉄、マグネシウム
ピーナッツ	ナッツ	ビタミンA、タンパク質、カルシウム
豆腐	腐豆	タンパク質
納豆	豆	タンパク質
卵	卵	
豚肉	肉	ビタミンB1、ビタミンB2
緑黄色野菜	野菜	ベータカロチン
インスタントコーヒー	コーヒー	ニコチン酸

って、無害な酢酸に変化します。この酢酸は血液に送り込まれ、体内で水と炭酸ガスに分解され、最終的には息や尿と一緒に排出されます。二日酔いの原因は、肝臓の酵素がアルコールを分解する途中で発生するこのアセトアルデヒドです。

#### ビタミン、 タンパク質が ポイント

二日酔いを防ぐためには、飲酒中に次の成分を

〔体における主なアルコール代謝経路〕



多く含む食物を同時に食べましょう。(表参照)

- ① 肝臓の働きを助けるニコチン酸、ビタミンB2・C・E
  - ② アルコールの利尿作用で不足したカルシウム、ミネラルを補う糖質
  - ③ 胃の粘膜を保護しアルコールの直撃を防ぐタンパク質
- このようにビタミン類を多く含んだおつまみなどを上手に取り入れながら、楽しく、気持ちよくアルコールと付き合しましょう。

消費生活に関するご相談は消費者相談センターへ・☎66-1111 内線463 (市役所生活環境課内)

# 市民のページ

■この「ページ」では市民の皆さんの活動ぶりやご意見などを紹介します。あなたもページに参加しませんか。連絡先 市役所秘書広報課（☎66・1111）

## 今月のスナップ



真剣なまなざしチャレラン大会

# ぐるーぶ登場

## 歩っ歩の会

### わが街を愛して、映画を作ろう

「文化とは、心を動かす。幸福のための流れなんだ」という言葉が始まりで、集まった大野が好きな若者たちが四十人以上になりました。大野には自分がいて、家族や友達など人と人とのつながりがあります。会員たちは、思いやりやいたわりの心で包んでくれるこの街が大好きです。

歩っ歩の会は、わが街に手づくりの文化を持つとうとの思いを込めて平成二年、市民会館で「希望舞台」の公演を行ったのが始まりです。

二年後に再度の公演を実施しました。でも、それだけで終わりにせず、自分たちの街の映画作りを開始。今は、来年夏のヤングフェスティバルでの公開を目指して撮影が進んでいます。

タイトルは、「出発!!」（ス

タート）—それぞれのカーテントリーが聞こえる—です。出た女の子が、ふとしたきっかけで大野へ帰ってきた。始めは都会と比べてつまらないと感じていたが、ある劇団と知り合い、あらためて古里のよさを実感するといふものです。この女の子の姿を借りて、大野の若者を表現しようとしています。ロケは、大高跡地や市民会館をはじめ京都まで出かけて行いました。会員の半数が役者として登場し、残りが撮影・編集・道具など裏方で活躍しています。それでも、悩みは会員全員が集まりにくいということです。会長の米村和由さん（下舌）は「自分たちの



街に住む若者の生きざまを皆さんに伝えたいです。この映画を通じて大野に根付いた活動をした」と、はつらつ。 ※活動の様子は、12月17日⑤の午後11時30分からNHK教育テレビ「ソリトン夢時々晴れ!」で放送されます。

### ボランティア活動で

### 子供たちと友達に

二人は、県立大野青年の家で高校生ボランティアとして活動しています。青年の家でスポーツ・ゲーム・クラフト・音楽・手話などの実習を受けてから、小中学生に指導したり、一緒に楽しみながら作ったりするリーダーです。二年生になってから毎月第



二土曜に開かれる「ふれあい広場」の活動に参加してきました。今年からは、心身障害児童生徒との交流活動として行われている「あそぼう会・はなそう会」にも取り組み、相手を思いやる温かい気持ちで活動をしてきました。

子供と遊ぶのが好きだったのと、先生に勧められたことが、青年の家のボランティア活動に参加したきっかけです。市内の高校生で作るボランティアサークル「流れ星」にも所属しています。

「最近、子供同士でも年齢差があると一緒に遊ぶことがありません。ここでは自分自身もいろいろなことを経験でき、小学生と友達になって遊べます。すべてが楽しいです」と、二人は生き生き話しています。

卒業後はともに進学を希望

松田敦子さん(左)・飛石めぐみさん  
(大野高校・3年)

しています。将来、飛石さんは施設や病院などの養護保母、松田さんはスポーツトレーナーになることが夢です。二年間のボランティア活動がよい経験となるでしょう。

子供たちと楽しくパン焼き





私は毎朝、散歩のために亀山に登っています。

特に最近、南登り口の城門について気がつきました。城門には銅板が張られていて、この下の部分が黒く変色しています。木の部分も黒くなっています。多分、犬の尿がかかって変色したのではないかと思います。

## 私もひとごと



ほかの公園でも、よく犬のふんが放置されています。これも大変見苦しいものです。どちらも飼い主のモラルの問題だと思いますが、何とかならないのでしょうか。

(匿名希望)

注意書き看板を設置したり、ビニール袋を持たない飼い主を見たとその都度注意したりしています。

今回の亀山登り口城門のことですが、現地を見たところ犬の尿により変色したと思われる。

以前から犬のふんなどによる苦情があり、注意書き看板の設置を検討しました。しかし

## 愛犬家の皆さん、マナー守って



し、大野のシンボルでもある亀山に注意書き看板を設置することは、市民のモラルの低さを象徴しているようで、ためらってききました。それでも、今後もこのようなことが続くならば、設置も考えなければなりません。

## うんにちは

### 市内で初の救急救命士、消防本部に誕生

#### 朝日弘 幸さん (41歳・弥生町)

大野地区消防本部の朝日弘幸さんは、このほど国家試験

に合格し、市内で初の救急救命士になりました。受験のために東京で半年間の学科や実技などの研修を受講。救急救命士の制度は、平成三年にスタートし、現在、県内の消防士では、十四人程度が資格を取得しています。

資格取得によりこれまでの救急隊員の応急処置に加え、心肺停止状態の患者に対して、蘇生のための特定の処置が可能となりました。活動の場所も通信などにより医師の指示

を受けることができるならば、搬送中の救急車のほか必要に応じて事故現場などでも可能

朝日さんは、昭和五十三年に消防士となり、救急隊員としても十五年の経験を持っています。これまでも数多くの現場で救急活動をしてきました。今後は、救急救命士としての活躍が期待されます。

「現場での救急救命士としての活動に加えて、習得した知識や技術をほかの隊員にも伝えたいです。また、市民の皆さんを対象とした講習会で、一次救命処置の普及を図り、より多くの人の命を救いたいです」と、力強く話しています。

### 投稿規定

飼い主の方は、犬のふんを持ち帰るなどマナーを守り、公園を気持ちよく利用できるよう心掛けていただきたいと思います。

(都市計画課長)

市政についての質問や意見などを、ハガキでお寄せください。「住所・氏名・年齢・電話番号」を必ずお書きください。紙上匿名は自由ですが、住所・氏名のないものは採用できません。

原文を一部要約することがあります。

あて先は、「☎912 大野市天神町一丁目 市役所秘書広報課広報広聴係」です。

## お知らせ

国勢調査にご協力ありがとうございました

平成七年国勢調査が終了しました。市民の皆さんのご協力と調査員、指導員の方々のご努力に厚くお礼を申し上げます。

大野市の調査の結果は次のとおりです。

### 国勢調査人口40,247人前回(平成2年)との比較744人減

男性	19,148人	(前回との比較390人減)
女性	21,099人	( " 354人減)
世帯数	10,567世帯	( " 104世帯増)

人口の年齢別構成や産業別就業者数などの集計は、総務庁統計局で行われ、順次公表されます。

※この結果は、総務庁統計局の公表結果と異なる場合があります。

総務庁統計局  
福井県・大野市

## イトヨのシンちゃん大活躍 「イトヨの絵本」作成



大野青年会議所により「イトヨの絵本」が作成されました。同会議所がストーリーを考え、大野高校美術部の生徒たちが原画を担当。600冊が印刷され、市内の幼稚園、保育所、小学校などに配布されました。イトヨを通して自然の素晴らしさや大切さを表現しています。話し言葉には大野の方言が使われ、親しみの持てる内容です。

新田―花房間の九頭竜川に架かる「阪谷新橋」が完成し、10月16日に開通式が行われました。橋は、長さ約二百五十メートル、幅九・七五メートルの歩道はカラーブロック舗装です。平成四年から工事が進められ、総工費は約九億一千万円。テープカットに続いて、兩岸の三世代夫婦二組や関係者が渡り初めをして開通を祝いました。

## 富田と阪谷を結ぶ「阪谷新橋」開通



秘書広報課広報広聴係 ☎66-1111

## 自立する消費者を目指して みんなの消費生活展



10月14・15日、「たしかな選択、ひろがる暮らし」をテーマに第27回みんなの消費生活展がリブレで開かれました。パネルや写真でPL法が詳しく解説されたり、ペットボトルからリサイクルされた毛布などが展示されたりして、訪れた人たちは興味深く見入っていました。ウグピーもPRに一役買い、子供たちに大人気でした。



## 五箇地区にグラウンドが復活 区民総出の大運動会

10月2日、西勝原の五箇公民館横に遊具を備えた多目的グラウンドが完成しました。五箇地区には、昭和六十一年の勝原小学校の廃校以来グラウンドがありませんでした。10月10日には早速、地区挙げての運動会を開催。お年寄りから子供まで地区出身者なども加えて全住民を上回る百人以上が参加して、完成を祝いました。



## 72年の思い出を抱いて 8人で最後の同窓会

旧大野町立有終男子尋常高等小学校の大正十年卒業生でつくる同窓会「誠進会」が幕を閉じました。当初は約七十人で大正十二年に設立。毎年、春秋に会合を重ねてきましたが、会員も八人に減り、八十七、八歳と高齢のため解散となりました。10月17日に最後の同窓会を開き、残った会費を老人福祉のためにと市に寄付しました。

# 話題の広場

# 話題の広場



10月21・22日、大野の秋の風物詩「三大朝市物産まつり」が七間通りで開かれました。石畳の通りには、地元の里芋や赤カブをはじめ三石町の新巻きサケ、能生町の紅ズワイガニ、高山市のみたらし団子など海、山の幸が勢ぞろい、九頭龍舞も披露されました。大勢の観光客や市民が訪れ、秋の味覚を求めています。

## 秋の味覚いっぱい、三大朝市物産まつり



## 尚徳中の冬季寄宿舍廃止 山間地の生徒とともに30年

尚徳中学校へ山間地から通学する生徒たちが冬季間利用していた寄宿舍が、このほど廃止になりました。寄宿舍は、昭和37年の阪谷中学校など4校の合併に伴い翌38年に設置され、木造2階建て700平方メートルで定員は72人。道路条件がよくなり冬季間のスクールバスの運行に支障もなくなり、建物も老朽化して危険になったため、廃止が決定しました。

身近な話題をお知らせください。



## 児童の文字が記念碑に 杉ヶ谷堰堤が完成

10月28日、真名川上流の温見に建設が進められていた「杉ヶ谷堰堤」が完成し、記念碑の除幕式が現地で行われました。砂防事業を理解し、関心を持ってもらおうと建設省福井工事事務所が市内の小学6年生を対象に題字を募集。最優秀賞に中村麻里奈さん（小山小）が選ばれました。優秀賞8人の名前も刻まれています。



## 活力ある大野にするために 「岩國哲人」氏講演会

11月4日、越前大野平成塾の主催による「岩國哲人」前出雲市長の講演が市民会館で行われました。市内をはじめ勝山市や和泉村、敦賀市などから集まった約五百人で会場は満員。国際化の中での日本の役割や地方都市の重要性などを分かりやすく話しました。訪れた人たちは、最後まで熱心に聞き入っていました。



## 若里ふれあい会館完成 地域活動の拠点に

若里ふれあい会館が、このほど中挟に完成しました。旧集会所は、上若生子小学校を移転改築したもので、老朽化のため建て替えとなりました。木造平屋建て百十八平方メートルで、集会室や談話室、図書室、料理実習室を備えています。住民の交流とコミュニティの形成に活用されます。事業費は、約一千八百万円。

# お知らせ

## 12月



### ●償却資産の申告は 1月31日まで

1月1日現在、所有する事業用償却資産に対して、固定資産税が課税されます。市内に該当する資産を保有もしくは貸し付けている法人や個人は、地方税法の定めにより申告することになっています。

対象となる資産は、法人税法または所得税法に基づく所得の計算上、損金または必要経費に算入される機械・器具・装置・備品・車両・運搬具・構築物などです。

申告期限の1月31日(水)までに必ず提出してください。

問合せ先 市役所税務課資産係 (☎66・1111内線425・426) まで

### ●保育所の入所申込 締切は12月27日

来年4月に、市内の保育所(公立・私立)へ入所を希望される乳幼児の受け付けを次のとおり行います。

資格 原則として平成7年9月30日以前に生まれ、保護者が病気や仕事などで保育できない家庭の乳幼児

申込期間 12月1日(金)～12月27日(水)

申込方法 市福祉事務所児童係または最寄りの保育所に備えてある入所申込書に必要事項を記入のうえ、関係書類を添えて提出

入所決定 後日、面接と調査を行い、3月上旬に可否を通知

問合せ先 市福祉事務所児童係 (☎66・1111内線475) まで

### ●公立幼稚園の 入園児を募集

市教育委員会では、来年4月に入園する幼稚園児を次のとおり募集します。

資格 市内に住居があり、住民票に登録されている幼児で、原則として小学校入学1年前であること(定員に余裕のあるときは年齢を1

年繰り下げることがある)募集人員 小山60人、乾側50人、上庄80人、富田80人、阪谷70人  
申込期間 12月11日(月)～平成8年1月31日(水)  
申込方法 市教育委員会学校教育課または公立幼稚園にある入園願書2部に必要事項を記入のうえ、入園希望幼稚園に提出  
入園決定 2月中旬に入園許可書を送付(定員を超えた場合はお断りすることもあります)  
問合せ先 市教育委員会学校教育課 (☎66・1111内線521) まで

### ●B&G少年の船 参加者募集

渡航先 沖縄

対象 小学5・6年生と中学生の男女

期日 平成8年3月31日(日)～4月6日(金)

内容 海洋スポーツ・寄港地見学・船内研修

参加費 75,000円(うち30,000円市補助)

募集人員 市内2人(全員で450人)

締切 12月10日(日)  
申込・問合せ先 B&G海洋センター (☎64・1311) まで

### 飲酒運転は、 悲惨な結果を招く



年末は、何かとお酒を飲む機会が多くなります。酒の上での失敗は、大抵は笑って許されます。だが、飲酒運転だけは話は別です。ある大学で実際に飲酒運転をさせて、飲まないときと運転がどう変化するかを実験しました。免許試験場のコースを走り、同乗の試験官のチェックと運転記録装置により分析したものです。1回目と2回目の走行

の間に飲酒したドライバーは、いずれも2回目の成績が悪くなっています。逆に飲酒しなかったドライバーは、いずれも成績がよくなっています。

これは、もし危険な場面に出合ったとき、普通だったら十分回避できるのに、飲酒によつて回避できないことを意味しています。

飲酒運転事故は、あえて危険を冒した結末です。罰則はもちろん世間の非難も厳しく、補償などで経済的にも苦しくなります。その悲劇性をドライバーや周囲の人たちも十分認識し、お酒を飲んだら絶対に運転をしないようにしましょう。

5500) まで

### ●盲学校、ろう学校と 養護学校の入学者募集

福井県立盲学校、ろう学校ならびに養護学校の幼稚部と高等部では、平成8年度の入学者の募集と選考を実施します。

応募資格や出願の手続きなど詳細は、市教育委員会学校教育課 (☎66・1111内線521) までお問い合わせください。

### ●みんなおいで 図書館クリスマス会

日時 12月24日(日)午前10時30分～正午

場所 図書館2階視聴覚室

内容 クリスマスのお話・影絵・キャンドル作り・ミニミニクッキープレゼント・ハンドベル演奏

定員 100人

参加料 無料(図書館で整理券配布)  
問合せ先 市図書館 (☎65・

戸籍謄抄本などの交付手数料が変わります

平成8年1月から、市民課で交付する戸籍の謄抄本などに要する手数料は、戸籍法の改正により下表のとおり改定されます。

申請内容	手数料額
①戸籍の謄抄本または記録事項証明書	1通 450円 (400円)
②除籍の謄抄本または記録事項証明書	1通 750円 (700円)
③戸籍に記載した事項に関する証明	1件 350円 (300円)
④除籍に記載した事項に関する証明	1件 450円 (400円)
⑤届け出・申請の受理証明書または届け書その他の書類の記載事項の証明書	1通 350円 (300円)
⑥上質紙を用いた受理証明書(婚姻・離婚・養子縁組・養子離縁または認知の届け出)	1通 1,400円 (1,300円)
⑦届け書その他の書類の閲覧	1件 350円 (300円)

( ) 内は改定前

問合せ先

市役所市民課市民係 ☎66・1111内線451・452

●市社会福祉協議会 職員募集

平成8年4月採用予定の職員を募集します。  
採用予定人数 1人  
採用条件 大野市社会福祉協議会諸規則による  
応募資格 市内在住の昭和46年4月2日以降生まれの男女。高校卒業(平成8年3月卒業見込み含む)以上の学歴を有し、社会福祉に意

欲のある人  
応募締切 12月15日(金)から平成8年1月18日(金)まで(郵送は当日消印有効)

申込方法・場所 市社会福祉協議会にある所定の申込書に必要事項を記入し、顔写真をはって提出。郵便で申込書を請求する場合は、封筒の表に「職員採用試験申込書請求」と朱書きし、80円切手をはった返信用封筒を同封のうえ、〒912大

●国民健康保険

一日ドックと薬草教室

成人病予防の第一歩は、自分自身の健康チェックです。あなたの健康を守るために、一日人間ドックをご利用ください。国民健康保険では、費用の7割を補助します。

野市天神町1-19有終会館  
内大野市社会福祉協議会  
(☎65・8773)へ送付

●クリスマス

お菓子作り講座

日時 12月17日(日)午後1時30分～22日(金)午後7時30分  
場所 勤労青少年ホーム  
内容 17日(日)シュー生地ケーキ「パリプレスト」・22日(金)「ベイクドチーズケーキ」と「グレープフルーツゼリー」

準備物 エプロン、筆記用具  
定員 先着20人  
受講料 2,000円  
締切 12月14日(木)

申込・問合せ先 勤労青少年ホーム(☎65・7221)まで

●子宮「体がん」検診

子宮がんには、出口近くにできる「頸がん」と、奥にできる「体がん」があります。日本ではこれまで「頸がん」がほとんどでした。しかし最近では、「体がん」が増える傾向にあります。

●市身体障害者福祉大会

当日の午後、記念講演を行います。講演内容は障害者問題をベースに笑いをふんだんに取り入れたものです。講師自身も視力障害者で、講演の後には、落語をします。一般の方々のご来場をお待ちしています。

日時 12月9日(土) 大会11時前10時

▼記念講演11時

場所 有終会館3階  
大会内容 自立更生者、援護功労者の表彰など  
講師 笑福亭伯鶴さん

問合せ先 市福祉事務所福祉係(☎66・1111内線473)まで

●悩みごとの相談は 人権擁護委員まで

12月4日から10日までは「第47回人権週間」です。人権擁護委員は、家庭内や近隣とのめんど、悩みごとなどの相談にいつでも応じています。

相談は無料で、相談者の秘密は固く守られます。お気軽にご相談ください。  
人権擁護委員▼多田正則(伏石 ☎67・1491)▼広瀬敏子(元町 ☎66・2322)▼安川昭一(下舌 ☎66・4641)▼松田まつ枝(要町 ☎66・2471)▼土本文子(中野 ☎66・3706)

# 私の宝

泉町の中出信之さん（53歳）の宝は、母親の米寿祭に対する兄弟からの感謝状の入った額です。大きさは、縦四十七センチ、横五十六センチで、中には感謝状と一円、五円、十円、五十円、百円、五百円の硬貨、一千元、五千元、一万元の紙幣が入っています。

母つぎさんの米寿祭は、平成五年三月二十日、自宅に子供や孫が集まって行われました。その後、五月の祭礼に中出さん宅に兄弟が再び集まったとき、この額が贈られたそうです。

## 市民のうごき

	11月1日現在	前月比
世帯数	11,464世帯	14世帯
人口	41,610人	△9人
内訳	男	△6人
	女	△3人
10月中の異動	転入	出生 29人
	転出	死亡 43人

## 市内の交通事故状況 (年頭からの計)

件数内訳	平成7年 10月末	平成6年 10月末	増減
総件数	442件	455件	△13件
人身事故	件数	136件	△5件
	死者	2人	△1人
物損事故	死者	176人	△18人
	物損	306件	△8件

### 12

## 米寿祭への感謝状

中出 信之さん(泉町)

します。

平成五年五月吉日

兄弟姉妹一同

武生にいらっしゃるお兄さんが中心になってこれ考えたようです。

中出さんは、男六人、女四人の十人兄弟で、年下は妹が一人だけの九番目です。日ごろよく母の面倒を見て、立派な米寿祭を済ませたことに対して兄

感謝状は次のとおりです。

「感謝状 信之ファミリーへ  
あなたは、母つぎの米寿祭（三月二十日）にあたり、多大なる御努力を尽くされ、中出一族五十数名に感動を与え、人生最大の喜びが、母は勿論全員に残る良き思い出と成りました。よってここに、深く感謝すると共に記念品を贈りその意を表

「当然のことのように母の米寿祭をしただけに、こんなものを頂いて大変うれしかったです。八十八年に一度のことだと思つと、二度ともらえないものなので、一生大事にしたいです」と、中出さんは話していました。



「当然のことのように母の米寿祭をしただけに、こんなものを頂いて大変うれしかったです。八十八年に一度のことだと思つと、二度ともらえないものなので、一生大事にしたいです」と、中出さんは話していました。

## 表紙のつぼ

寒い冬も、子供たちは元気がいっぱいです。阪谷幼稚園（大宮一幸園長、園児35人）では、十年ほど前から週三回、乾布摩擦を行っています。音楽に合わせてみんなで踊った後、タオルで体をこしこし。風邪ひき鬼も逃げ出して、体はぽっかぽっかです。

## 編集後記

今年も、もう師走。月日のたつ早さには、あらためて驚かされます。今月は仕事の傍ら、年賀状書きや大掃除も待っており、いつもに増して忙しく終わりそうです。この一年、つたない広報をご愛読くださいましてありがとうございます。どうぞ、良いお年を。



二カ月ばかり前に主婦四十人が出演する児童劇を見た。「さるとかに」や「プレーメンの音楽隊」の童話がカッコよくアレンジされ、しぐさもせりふもなかなか堂に入り、役そのものをこなすきつていて面白かった▼さる役のKさんと、かに役のTさんは、普段は小料理店のママさん。お客相手の仕事でプレッシャーも多いが、持ち前の明るさと演劇が大好きという気持ちが重なって、毎年欠かさず出演し今年で七回目だそうだ▼プレーメンの音楽隊に泥棒の悪役をかって出たIさんは理髪の仕事をしている。「お客さんの頭や顔の手入れをするときはそのことだけに集中しているので、掃除機をかけながらせりふを繰り返したり、寝床に入ってから口ずさんだり、どんなしぐさもいいかなどと自分なりに工夫しながら眠りにつくんですよ」とにこやかだった▼

「一人ひとりの主婦がそれぞれの店や家庭で責任ある仕事をこなし、時間をみつけて役づくりに一生懸命です」と、スタッフから聞かされた。「テレビやパソコンゲームに偏りがちな現代っ子に生の劇を見せたい。温かい童話の世界に入らせたいと思います。ワイワイ話し合つて劇の練習をするのも楽しいですよ」と語る主婦たちである▼大野には、「チャップス・ゆきんこ・たんぼぼ」の劇団があり、毎年ホットな公演で子供たちに美しく楽しい夢を与えている。これらの演劇も大野の文化を支える役目を果たしているに違いない。

(H)